

平成 23 年度 第 1 回常任委員会議事録（案）

日 時：2011 年 5 月 26 日（木）15：00～17：00

場 所：ホテルメトロポリタンエドモント 3F 春琴

出席者：二羽委員長，下村幹事長，石橋，入矢，上田，梅原，大津，岡澤，金津，河合，河野，岸，黒田，坂井，島，鈴木，田中，西垣，信田，橋本，濱田，丸山，宮川，睦好，横田，六郷，渡辺の各常任委員
綾野，岩波，小林，佐藤，久田，丸屋の各幹事，村木（事務局）（敬称略）

配付資料：

- 1-0 平成 23 年度第 1 回常任委員会議事次第
 - 1-1 平成 22 年度第 6 回常任委員会議事録
 - 1-2 コンクリート委員会東日本大震災調査対策小委員会調査団報告
 - 1-3 津波による橋梁構造物に及ぼす波力の評価に関する調査研究委員会設置願い
 - 1-4 平成 23 年度全国大会開催に伴う研究討論会
 - 1-5 第 3 種小委員会に関する申合せ事項
 - 1-6 CO₂削減を考慮したコンクリート構造物の解体，再利用，補修技術に関する調査研究小委員会（21
9 委員会）活動期間延長願
 - 1-7 社会基盤施設の設計と維持管理の連係システムの構築に関する研究小委員会委員構成（案）
 - 1-8 委員の変更願
 - 1-8-1 示方書改訂小委員会／運営部会
 - 1-8-2 示方書改訂小委員会
 - 1-8-3 示方書改訂小委員会／施工編部会
 - 1-8-4 示方書改訂小委員会／維持管理編部会
 - 1-8-5 規準関連小委員会
 - 1-8-6 コンクリート教育研究小委員会
 - 1-8-7 高流動コンクリート配合設計・施工指針改訂小委員会
 - 1-8-8 コンクリートのポンプ施工指針改訂小委員会
 - 1-9 平成 23 年度コンクリート委員会・常任委員会開催予定
 - 1-10 震災に伴う基準・指針類の点検状況
 - 1-11 東日本大震災特別委員会土木専門家情報センターの設置
 - 1-12 平成 22 年度コンクリート委員会会計報告
 - 1-13 報告会，講習会
 - 1-13-1 鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会「成果報告会」
 - 1-13-2 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会
 - 1-13-3 施工性能にもとづくコンクリートの照査・検査システム研究小委員会
 - 1-13-4 環境調和型コンクリート材料学の創造に関する研究委員会「成果報告会」
 - 1-14 吉田賞選考委員会からの依頼状
- その他：鉄筋継手 Vo. 46 No. 1(2011. 4)

議 事

1. 委員長挨拶

二羽委員長より，①コンクリート標準示方書の 2012 年版の刊行に取り組む，②東日本大震災に対しては緊急調査を行ったが，新しく委員会を設け，コンクリート構造物の被災例の調査分析と，津波への対応を進める，③コンクリートを巡る諸問題に真面目に取り組む，こととしたいので委員各位のご支援・ご協力をお願いしたいとのあいさつがあった。

2. 委員自己紹介

平成 23 年度常任委員より自己紹介があった。なお、幹事の担当は以下のとおり。

HP 担当：綾野，研究企画担当：岩波，出版担当：丸屋

3. 平成 22 年度第 6 回常任委員会議事録の紹介【資料 1-1】

第 6 回議事録はメールにて審議済みであるため、佐藤幹事より紹介がされた。

4. 審議事項

(1) コンクリート委員会東日本大震災調査対策小委員会の今後の活動【資料 1-2】【資料 1-3】

- ・鈴木委員より、東日本大震災調査対策小委員会の活動報告があった。第 1 次調査と調査結果の公表を目的とした本委員会の活動は終了すること、ただしは今年度末までは存続し、震災調査結果をホームページ等で発信するとともに、今後の単発的な調査活動の受け皿とすることが提案された。審議の結果、これらを承認した。
- ・丸山委員より、津波の波力を評価するための調査研究委員会の設置が提案された。成果は、コンクリート標準示方書【設計編】「6 章荷重」「6.4.5 水圧，流体力および波力」に取り入れられる予定である。委員には、津波，流体力学等の専門家も含める。本提案を受け、震災に関わる他の委員会との調整の必要性および合同委員会の設置も議論されたが、速やかに委員会の活動を開始する事の方が優先されるとし、本委員会は、2 種委員会として設置され、必要な予算を計上することになった。

(2) 平成 23 年度全国大会研究討論会の内容【資料 1-4】

下村幹事長より、以下の要領で研究討論会の計画が進められていることが報告された。審議の結果、このまま進めることを承認した。

- ・タイトルを「東日本大震災における土木構造物の被害と教訓」とする。
- ・構造工学委員会，コンクリート委員会の合同開催とし，鈴木委員を座長，話題提供者は資料記載の方々とする。
- ・定員を 200 名とし，9 月 7 日 16:15～18:15 に開催する。

(3) 3 種委員会の運営方法に関する申し合わせの見直し【資料 1-5】

下村幹事長より，資料に基づき修正案の説明があり，審議の結果以下とすることとなった。

- ・内容の変更：「常任委員が設置理由を説明する。」を「申請者が，常任委員会で説明する。」に修正することが提案された。
→ふさわしくない申請があった場合に拒否できるように基準を設ける必要はないか，との質問があった。これに対し，設置の基準は明文化せず，幹事団の判断により対応することとなった。
- ・記載方法の修正：「活動経費において，事務費，旅費は支給せず，会場費の補助はコンクリート委員会に申請できる」趣旨が伝わり易い文章に修正することが提案された。
- ・記載方法の修正：行事収入で赤字が出た場合は，コンクリート委員会に補助を申請できる趣旨が伝わり易くするために，「行事収入が見込めない等の事情がある場合には，コンクリート委員会に補助を申請することができる。」と修正することが提案され，了承された。
→収入が黒字の場合は，コンクリート委員会に返還される。用途のルールは幹事団で今後議論することとなった。
- ・新規の記載：「コンクリート技術シリーズは，常任委員会で審議を行わないため，その内容についてコンクリート委員会は責任を負わない。したがって，コンクリート技術シリーズには，正式に承認を受けた学会規準や指針類と混同されるような記述をしてはならない。」を追記することが提案された。
→コンクリート技術シリーズは 3 種委員会以外の出版の形態にも用いられることがあり，それらについても制限を加えることが趣旨ではないので，この記述は「コンクリート技術シリーズ」を「3 種委員会の報告書」に修正することとなった。
- ・3 種委員会の申し合わせ事項をホームページの分かりやすいところに表示することとなった。

(4) 219 委員会の活動期間延長の提案【資料 1-6】

- ・河合委員より、219 委員会は 6 月中に委員会の成果をとりまとめ、秋までに示方書【共通編】および【維持管理編】に成果を反映する原稿を作成するために、1 年間の活動の延長が申請され、活動費は 70 万円とすることが認められた。

(5) 2 種委員会の設置及び委員構成の提案と 3 種委員会の活動休止願い【資料 1-7】

二羽委員長および横田委員より以下が提案され、審議の結果、これらを承認した。

- ・2 種委員会「社会基盤施設の設計と維持管理の連係システムの構築に関する研究小委員会」の委員構成が提案された。本委員会は、当初 344 委員会として公募を開始したが、それと同様の趣旨の委員会活動を重点研究課題の公募に応募したところ採択されたため、新たに 220 委員会を設置して活動を行うものである。
- ・344 委員会としての活動は、1 年間休止する。

(6) 1 種・2 種委員会の委員追加

二羽委員長より、以下の 1 種・2 種委員会の委員の追加・変更が提案され、審議の結果これらを承認した。

・示方書改訂小委員会／運営部会【資料 1-8-1】

(交代) 副主査：二羽淳一郎→岸利治、(新任) 委員：下村匠、(役職変更) 副主査→委員：二羽淳一郎

・示方書改訂小委員会【資料 1-8-2】

(新任) 副委員長：宮川豊章、(交代) 幹事長：二羽淳一郎→岸利治、(役職変更) 幹事長→委員：二羽淳一郎、(記載の修正) 半井、渡辺：委員→オブザーバー、半井：講師→准教授

・示方書改訂小委員会／施工編部会【資料 1-8-3】

(役職変更) 委員→担当幹事：久田真、(新任) 担当幹事：小林孝一

・示方書改訂小委員会／維持管理編部会【資料 1-8-4】

(退任) 西田孝弘

・規準関連小委員会【資料 1-8-5】

(新任) 委員：丸岡正知、(交代) 委員：小牟禮→平塚慶達、浦野真次→田中博一、(役職変更) 担当幹事→委員：濱田秀則、委員→担当幹事：久田真

・コンクリート教育研究小委員会【資料 1-8-6】

(交代) 委員：岩波光保→岩田道敏、大川裕→菅俣匠、野島昭二→竈本武弘、服部篤史→丸屋剛、平田隆祥→三浦律彦、福留和人→平喜彦、(退任) 委員：加藤佳孝、坂本淳、羽瀧貴士

・高流動コンクリート配合設計・施工指針改訂小委員会【資料 1-8-7】

(新任) 担当幹事：小林孝一

・コンクリートのポンプ施工指針改訂小委員会【資料 1-8-8】

(新任) 担当幹事：綾野克紀

(7) その他

特になし

5. 報告事項

(1) 平成 23 年度コンクリート委員会・常任委員会開催日程【資料 1-9】

下村幹事長より以下が報告された。

第 1 回 5 月 26 日 (木) 15:00-17:00 ホテルメトロポリタンエドモント

第 2 回 7 月 11 日 (月) 14:00-17:00 ホテルモントレ大阪

第 3 回 9 月 6 日 (火) 14:00-17:00 愛媛県松山市内

第 4 回 11 月 28 日 (月) 14:00-17:00 土木学会 AB 会議室

第 5 回 1 月 24 日 (火) 14:00-17:00 土木学会講堂

第 6 回 3 月 15 日 (木) 14:00-17:00 土木学会講堂

- ・幹事会は、常任委員会のおよそ 1 週間前に開催する。議題は、幹事会の 1 日前までに提出すること。

(2) 東日本大震災後の土木学会の基準・指針類の見直し【資料 1-10】

土木学会から、各調査研究委員会あてに東日本大震災を受けて基準・指針類の見直しを行うかどうか問合わせがあり、コンクリート委員会は以下の回答をしたことが下村幹事長より報告された。

- ・2007年制定の示方書と既刊の指針類は見直さない。
- ・2012年制定の示方書は、現在内容を検討中である。検討過程において、震災を受けて見直しをすべき箇所が生じれば随時対応する。見直し状況について、要請があれば外部公表に応じる。

(3) 示方書 2007 英訳版の無償ダウンロードに伴う JGC の取り扱い

丸屋幹事より以下が報告された。

- ・示方書 2002 英訳版は従来通り有償で販売、示方書 2007 英訳版は無償で配布することが、出版委員会でも了承済みである。
- ・JGC の残部については、販売の促進を継続し、無償配布等については今後出版委員会で決定される。

(4) 吉田賞選考委員会への寄付について【資料 1-14】

- ・二羽委員長より、震災の影響により吉田賞財源の収入が見込めないため、辻吉田賞選考委員会委員長より寄付のお願いが来ていることが紹介され、コンクリート委員会として、歴史ある吉田賞をサポートすることが確認された。
- ・吉田賞選考委員会の 23 年度予算は 50 万円と報告があり、二羽委員長より、1,000 円／人程度で各種イベントでの寄付をお願いしたいとの要請があった。
- ・吉田賞委員会には、今後の資金計画を立てるよう幹事会から要請することが確認された。

(5) 土木学会技術推進機構からの専門家情報提供に関する依頼【資料 1-11】

下村幹事長より以下が報告された。

- ・東日本大震災により被災した自治体から土木学会に専門技術者に関する情報提供の依頼が来た場合、各調査研究委員会に協力をお願いしたい旨の要請が技術推進機構よりあり、コンクリート委員会からは了解の回答をした。今後、依頼があれば常任委員へ協力要請を行う場合がある。

(6) タイとのジョイントセミナーの開催予定

信田委員より、国際関連小委員会においてタイとのジョイントセミナーが計画中であることが報告された。

- ・国際委員会より 70 万円の予算が認められた。
- ・地震による被害、津波による被害を中心としたセミナーの要望がタイ側からきている。
- ・海岸工学、海洋開発委員会の協力を得て、補修、補強、復旧技術および地震、津波に対する示方書の考え方を示す。
- ・睦好委員、中村委員、丸山委員、水谷先生（名古屋大）、幸左先生を講師とし、8 月に開催を予定している。

(7) 平成 22 年度実績の委員会活動度評価（I, II, III）の作成・提出

- ・下村幹事長より、活動度の評価実績を作成し、研究企画委員会に提出したことが報告された。

(8) 平成 22 年度決算報告【資料 1-12】

下村幹事長より以下が報告された。

- ・一般会計収入が 1,850 万円、支出が 1,694 万円であった。
- ・東日本大震災の調査費用および報告書の英訳代金約 100 万円は、特別会計から支出される。

(9) 報告会・講習会の開催報告および案内

a) 鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会（340 委員会）「成果報告会」（報告）【資料 1-13-1】（島委員）

- ・参加人数は 110 名であった。

b) 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会（開催）【資料 1-13-2】（渡辺委員）

- ・3 月に開催を予定していたが、6 月に開催を変更した。
- ・吉田賞選考委員会への寄付として 500 円／人を募る。

- c) 「コンクリートの施工性能の照査・検査システム」に関するシンポジウム（開催）【資料 1-13-3】（橋本委員）
- ・3月に開催を予定していたが、9月に高松で開催する。
 - ・原稿は校了済み。
- d) 環境調和型コンクリート材料学の創造に関する研究委員会（218委員会）「成果報告会」（開催）【資料 1-13-4】（濱田委員）
- ・講習会は8月2日に実施する。
 - ・ライブラリーの発刊は行わず、コンクリート技術シリーズで報告書を出す。
 - ・2種委員会の報告書はライブラリーとして出版するのが基本であるが、重点課題としての採択から2種委員会の設置に至った場合には、報告書の内容がライブラリーにふさわしくない場合もありうる。
 - ・今回は技術シリーズとして出版するが、このことを前例としない。

(10) その他

特になし

6. その他

次回幹事会：2011年7月5日（火）15：00～17：00 （案件の締切は前日7/4）

第2回常任委員会：2011年7月11日（月）14：00～17：00 ホテルモントレ大阪

以 上